

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年05月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

|      |  |       |       |    |
|------|--|-------|-------|----|
| 表題   | NUBIC管理番号: <input type="text" value="2007000066"/> 整理番号 <input type="text" value="11175"/> 担当者 <input type="text" value="加根魯 和宏"/>   |       |       |    |
| 技術分野 | リハビリ用足裏刺激板及び当該リハビリ用足裏刺激板を備えたリハビリテーション装置  |       |       |    |
| 適用製品 | 電気・電子  | 情報・通信 | 生活・文化 | 医療 |
| 目的   | 健康診断機器、リハビリ用機器   |       |       |    |
| 技術概要 | 脳卒中で歩行困難になった患者に対し、認知運動療法を用いたリハビリテーションを実施する装置であり、患者自身による自宅療養が可能となり、さらにITによる効率的な治療を実現する。   |       |       |    |
|      | ITと整合させた認知運動療法により患者の認知機能の回復を効率的に実施し、患者に肉体的な過度の負担を与えることなく患者自身の回復ペースでリハビリを行う。具体的には、歩行が困難な患者に対して、座位状態で、足裏に足圧測定装置よりランダムに刺激を与え、この刺激に対して、患者がどの部位に感覚入力を感じるかを、問診用プレートに入力した結果を元に判定し、不正解となった部位に対して、圧力の大きさを変化させたり、あるいは正常な部位との比較により、自身の感覚上の問題部分を認識させる。感覚が無い部位を患者自身が認知することにより、与えられた課題を自身が実施することにより、脳内の失われた感覚野が回復したり、あるいは他の感覚機能による補間が可能となり、歩行リハビリを行うことが可能となる。核となる装置は、足圧測定装置と、患者の問診用プレートに入力されたデータを分析し、次の課題を設定するプログラム部である。 |       |       |    |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

|              |                      |       |                      |
|--------------|----------------------|-------|----------------------|
| 面談希望日時       | <input type="text"/> |       |                      |
| (ふりがな)<br>氏名 | <input type="text"/> |       |                      |
| 会社名          | <input type="text"/> |       |                      |
| 所属           | <input type="text"/> | 役職    | <input type="text"/> |
| 電話番号         | <input type="text"/> | FAX番号 | <input type="text"/> |
| E-mail       | <input type="text"/> |       |                      |
| 連絡事項         | <input type="text"/> |       |                      |



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp